

地域おこし協力隊の定住・起業（ゲストハウス開設）の支援 （高知県 越知町）

○事例概要

- ・東京出身の地域おこし協力隊員が町に定住し、1年かけて古民家を改修し平成28年4月にゲストハウスを開設。越知町が地域おこし協力隊員の起業を支援するため、ゲストハウスの設備拡充にふるさと納税を活用。
- ・ゲストハウスの露天五右衛門風呂や囲炉裏、蚊帳、屋根付き渡り廊下などの設備整備にふるさと納税を募集し、目標額を達成。
- ・観光資源は多いものの宿が1軒しかなく、日帰りの観光客が多いという課題がある越知町に、古き良き日本の田舎をコンセプトにしたゲストハウスが完成。



○寄附実績

平成28年度 274件 2,977千円



○事業効果等

- ・使い道を明示して、ゲストハウスへの来訪の呼びかけと併せて寄附の募集をしたことにより、越知町の自然や観光資源、環境の良さを広くPRすることができた。
- ・オープン後1年間で約300人が宿泊するなど、多くの方が越知町に訪れ、町の観光客数が増加。リピーターも多く、口コミでの宿泊客も増えている。

○事業の評価

- ・寄附金の使途が極めて分かりやすく、ゲストハウスを立ち上げる主体も明確な点が良い。まさに「顔が見える事業」への寄附になっている。
- ・宿泊施設は重要であるが、地域おこし協力隊の卒業生が古民家を改修し、そこにふるさと納税が活用されている点が素晴らしい。